

## 協働評価シート

事業名		当事者目線に立ったわかりやすい情報発信を目指して	実施年度	平成28年度
部 局		福祉部	課 所	地域福祉課
団体等の名称		NPO法人サスケ工房		
評価項目			評価者	評価
相互理解	それぞれの特性や立場を理解し合えたか	お互いの特性や立場を十分に認識、尊重して、事業を実施することができたかどうかを評価。	団体等	B
			市	A
対等	双方が対等の立場に立っていたか	対等な立場で協議、事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
自主	市民の自主的な活動が尊重されたか	自主的活動を十分に活かして事業効果を増加させたかどうかを評価。	団体等	B
			市	B
自立	市民の自立化を阻害しなかったか	依存体質が助長されるなど、市民の自立化が阻害されることがなかったかどうかを評価。(新たな自発的事業展開につながり自立化が進んだ場合はA評価)	団体等	B
			市	B
目的共有	双方が協働事業の目的を共有できたか	協働事業の目的は十分に共有して事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A
			市	B
情報共有	双方がお互いの情報を共有できたか	情報を十分に共有しながら事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	B
			市	B
公開	双方の関係を十分に公開できたか	全て公開され、利便性も高いかどうかを評価。	団体等	B
			市	B
「相乗効果」が発揮され、独自で行うよりも効果的と認められるか		「相乗効果」が十分に発揮され、協働が効果的と認められるかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたか		十分に市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたかどうかを評価。	団体等	B
			市	A

事業の目的、目標が達成されたか、どのような成果があったか、具体的な改善点等があれば記載（自由記述）

団体等	<p>目的では、障がい者関係の市民団体を集め、情報交換ができ、当事者とも連携した情報発信がホームページ上にできたことが成果だと思います。</p> <p>今回、使用したタヌキのイラストも障がい者の方のデザインを使い、市民の方に親しめる紹介ができ、当事者目線で行政とも協力ができました。しかし、当初の作業で提案不足があった点は改善点としてあります。</p>
市	<p>障がい者の目線に立ったわかりやすい情報発信というテーマで41の障がい者団体にアンケート調査を実施し、それを踏まえて意見交換会を行った。その結果、新たに作成するホームページにイベント情報の掲載や各団体情報、Q &amp; Aなどを掲載することとなり、協働事業で目指した内容に仕上がりに、目的は達成できた。</p>
相互協議 結 果	<p>障がい者が市のホームページを見て感じている意見を素直に出してくれたことで、どのようなホームページを作成すればいいのか目指すべき方向性も明らかとなり、市はそれらの団体の意見の調整、集約を行うことで、目指すべきホームページに仕上がったと感じている。</p> <p>アンケート調査がこの事業の指針となった。</p>